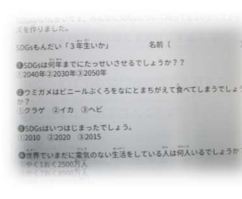
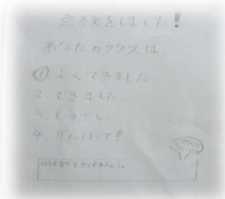


令和7年度「杜の都のエコ・スクール活動」報告書

学校番号	21	学校名	仙台市立岩切小学校	校長名	佐々木 宏
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 テーマ「身近な環境について考えよう」



2 取組の紹介

○美化委員会の活動

美化委員会では、花壇の整備、水やり、草取り、苗植えなど校内緑化活動に取り組みました。また、委員会活動の際に全校の掃除ロッカーを点検しました。評価まで行ったことで、掃除ロッカーの整理整頓に意欲的に取り組む学級が増えました。

○SDGs 委員会の活動

古紙回収では、各クラスに「リサイクルボックス」を設置し、モノクロ、カラー紙に分ける分別回収を行いました。「リサイクルボックス」には、SDGs 委員会の児童が作成したポスターを貼り付け、リサイクル活動の取り組みを啓発し、資源を大切にすることについて考えるきっかけとなりました。

環境問題に関するクイズを作成し、昼の校内放送で出題したり、掲示したりすることで、環境に対する意識づけを行いました。

○児童会の活動

児童会で計画した若竹まつりでは、各クラスの催し物をする際に、できるだけごみを出さないこと、廃棄する段ボールはガムテープをはがしてリサイクルに出すことなどを代表委員会で取り決め、全校で環境問題を意識して活動することができました。

○学校全体での活動

各教室にごみ箱を二つずつ設置し、可燃ごみとプラスチックごみを分別しています。委員会活動で古紙回収や掃除ロッカー点検を行い、意欲的にエコに繋がる活動をしています。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

様々な活動を通して、ごみの分別や節電、節水、緑化など環境問題にも興味関心を持ち、身近なものとして捉え、一人一人が取り組めるようになってきました。今年度は、「環境・緑化委員会」が「美化委員会」と「SDGs 委員会」に分かれたことで、より細分化した活動を行うことができました。委員会を中心としてエコ活動への取組を継続してきたことで、資源を大切にしようとする意識も高まってきました。また各クラスで意欲的にリサイクルに取り組む児童も増えてきました。

これからも全校児童が身近な環境やエコを意識して取り組むことができるよう活動を継続していきたいと思います。